

池田薬草株式会社

GMP認証工場である強みを生かした取り組みと展望



ライフサイエンス分野への本格的な参入に向けて、DKSグループに加わった池田薬草。GMP認証工場として、医薬品GMPに則った製造・品質管理を強みとしている。

—池田薬草の概要と理念を教えてください。

鍵政 1984（昭和59）年、池田薬草は徳島県三好市の清流・吉野川沿いの自然豊かな土地で創業しました。以来、地域活性化の一助を担いたいという思いのもと、地元農家の作物を生薬として製品化し、四国の地域活性化と人々の健康生活の向上に寄与することを会社理念として発展してきました。

—得意とする技術は何ですか。

鍵政 自然界に存在する素材をエキス抽出し、粉末化する技術です。現在の主な事業は、健康食品や化粧品粉末化を行う受託加工業務ですが、一方で、徳島の特産品でありながら、産業廃棄物であったすだちの果皮を原料としたスダチ果皮エキス末「Sudachin」の製造販売を行っています。

—それまで捨てられていたすだちの果皮に着目すると、ユニークな発想ですね。

鍵政 地元の特産品であるすだちで地域を活性化したいという思いと、地方で中小企業が生き残っていくためには、特色を持たねばならないということが、きっかけでした。当社だけではできない事業ですから、県や大学に働きかけて、産官学共同で開発を進めてきました。

—製造ラインの特徴を教えてください。

鍵政 「抽出エリア」と「第一スプレードライエリア」、「粉碎エリア」は、GMP認証を取得した工場であることが一番の特徴です。安心して使用していただける医薬品原薬・食品原材料を供給できるように、製品の品質保持についてGMP認証に基づいた品質保証体制を

構築しています。また、すべての生産エリアは、徹底した温湿度管理や清浄環境を維持する最新の空調設備も完備していますし、品種切り替えごとに洗浄を実施しています。中でもスプレードライなど各主要装置にはCIP（Cleaning in place=定置洗浄）機能を搭載し、より確実に安全に洗浄できるシステムを確立しています。これにより、コンタミネーションの防止にも最大限の注意をはらい製造しています。

—GMP認証工場であることの強みは何ですか。

鍵政 医薬品に準じた管理体制で、機能性食品に使われる原料や、健康食品、パーソナルケア製品などへ展開できることです。当社は売上げの約95%がお客から受託製品なのですが、医薬品ではないけれども、同じように管理してほしいという要望があります。受託製品で最も多いのは、パーソナルケア製品のような身体に触れる製品であり、GMP認証工場であることが大きな強みとなって、需要の増加にもつながっています。

—大まかな製造の流れを教えてください。

鍵政 まず、抽出エリアでは厳選された原材料からエキスを抽出・ろ過し、濃縮装置で高濃度濃縮します。この濃縮液をスプレードライで乾燥させて、粉末製品を製造しています。製造においても、品質においても、医薬品と同じようにGMP認証に準じた管理ができていくことが大きな強みです。

—大型の受託製造はもちろん、多品種少量の小ロット生産にも対応できるのですか。

鍵政 そうですね。エキス抽出にしても、他社と比べてそんなに大きな設備ではないので、小回りが利きます。ろ過工程においても、ろ過するサイズはさまざまなので各種ろ過装置を保有していますし、粉末化の工程では、1週間、10日間と、連続して同じ製品を生産し続けることもできます。

—池田薬草の技術は、DKSグループの中でどう生かされていますか。

鍵政 抽出技術や粉末化技術をDKSへ提供することにより、DKSの

ライフサイエンス製品への一役を担えるものと考えています。また、Sudachinのほか、すだちエッセンシャルオイル（精油）も販売していますし、これら池田薬草の独自製品の売上や利益を上げることで、DKSに貢献できるものと考えています。

—すだちの果皮に特有に含まれる成分「スダチチン」には、優れた抗肥満効果が発見されています。

鍵政 はい、動物試験で肥満予防の効果があることが確認され、注目度が高まっています。あくまで、個人的な感想ですが、私も3〜4カ月飲み続けていて特に、体重は増えていません。独特の苦みがあるので、ヨーグルトに混ぜて摂る人もいるのですが、私はそのまま1日に小さじ3分の2ずつ直接摂取しています。今後、誰にでも飲みやすいように、打錠品を開発することも視野に入れています。

—DKSからは、どんな影響を受けていますか。

鍵政 DKSでは健康経営の推進を積極的に進めていますので、これに共同して取り組み、社員の健康を増進し、また職場環境を整備することで健康経営を積極的に進めていけると考えています。そうすれば、地域活性化の一助を担いたいという創業時の思い通りに、地域の雇用活性化に貢献できます。今、地元の企業である池田薬草で働きたいという人が増えてきて、Uターンによる応募も増えています。入社希望者も多くなってきました。



—昨年、「徳島県頑張る中小企業大賞」を受賞しましたね。

鍵政 はい。化成品粉末受託事業の取り組みの成功が評価され、平成30年10月11日に優秀賞を受賞しました。アスティ徳島アリーナで開催された授賞式には社長の三浦と取締役の敷島が出席し、飯泉徳島県知事より表彰状を受け取りました。県でも特産のすだちをアピールしていますし、徳島県を代表するマスコットもすだちがモチーフの「すだちくん」ですから、Sudachinの開発は、県としても喜ばしいことだったと思います。

—これまで仕事のなかで大事にしてきたことは、何ですか。また、それを池田薬草で、どう生かしていきませんか。

鍵政 大事にしてきたことは、「人とのつながりを大切に、人が会社の未来をつくりだす」です。池田薬草は社員が30名弱の中小企業ですから、一人ひとりの能力が会社経営に与える影響が大きい。一人ひとりの意見を大切に、またその意見に対してしっかりと向き合えるようにしていきたいと考えています。その意見に真摯に向き合うことで、会社の未来が決まってくるものと考えています。

—今後の意気込みをお聞かせください。

鍵政 安定生産を基盤として、生産能力の向上、より働きやすい職場環境の整備に取り組み、DKSへの寄与、そして、地域のさらなる活性化も図っていきます。



鍵政 俊夫 かぎまさ としお

池田薬草株式会社
取締役 製造管理部長
0883-72-5320

池田薬草株式会社

●本社・工場 徳島県三好市池田町州津中津1808-1



緑豊かな自然環境に恵まれた池田薬草



効率的にエキスを高濃度に濃縮できる濃縮装置



化成品ラインの噴霧乾燥機



医薬品・食品ラインの噴霧乾燥機



「徳島県頑張る中小企業大賞」を受賞
左から三浦、飯泉知事、敷島